

平成 28 年度	<b>上下水道事業部の取り組み実績</b>
	<部の構成> 上下水道計画課、上水道整備室浄水課、上水道整備室上水道工務課、上水道保全課、 下水道整備室汚水整備課、下水道整備室雨水整備課、下水道施設維持課

## 1. 重点施策・事業

### (1) 水道管路更新・耐震化事業

重点施策・事業 における目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるため、上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けた取り組みに着手します。
平成 28 年度の 取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 28 年度当初予算：2,810,000 千円
平成 28 年度の 実績	約 12km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を行い 1,167 件の鉛製給水管の取替えを実施しました。(耐震化率 22.3%、鉛製給水管率 18.7%) 上水道施設整備基本計画の策定については、プロポーザル方式により、選定された事業者と計画策定の業務委託契約を 11 月に締結しました。計画の策定に向けた調査では、現計画の課題整理に取組み、将来人口予測に基づく給水需要予測を行いました。 平成 28 年度決算：1,607,766 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### (2) 中宮浄水場更新事業

重点施策・事業 における目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	平成 27 年度から実施している基本構想策定・基本設計業務に引き続き取り組むとともに、浄水場更新用地の取得や既存建築物の解体工事を進めます。 平成 28 年度当初予算：1,936,000 千円
平成 28 年度の 実績	中宮浄水場更新基本構想を策定しました。また、更新用地を取得し、文化財包蔵確認調査を終え、既存建築物の解体工事に着手しました。 平成 28 年度決算：1,156,311 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### (3) 応急給水拠点の整備

重点施策・事業 における目標	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 31 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
平成 28 年度の 取り組み	平成 28 年度は、応急給水拠点として、北山配水場に緊急遮断弁を設置するとともに、鷹塚山配水場の更新工事に着手します。また、津田低区配水場では、平成 33 年度に耐震化事業を完了し応急給水拠点として整備するため、事業に必要な用地を取得します。 平成 28 年度当初予算：284,800 千円
平成 28 年度の 実績	北山配水場に緊急遮断弁を設置し、応急給水拠点として運用を開始するとともに、鷹塚山配水場更新工事に着手しました。また、津田低区配水場の耐震化に向け、事業用地を取得しました。 平成 28 年度決算：161,677 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

### (4) 下水道施設維持管理事業

重点施策・事業 における目標	浸水被害対策等に備え、下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。また、下水道施設長寿命化計画を策定し、汚水管渠施設等の計画的な改築及び修繕工事を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。また、下水道施設長寿命化計画（汚水管渠・ポンプ場遠方監視システム）策定に向けた詳細調査、計画の策定を進めます。 平成 28 年度当初予算：944,312 千円
平成 28 年度の 実績	水路、管渠等の下水道施設の清掃や維持補修を定期的に行うとともに、老朽化した下水道管の更生工事を行いました。 また、下水道施設の詳細調査結果に基づき、汚水管渠と遠方監視設備の長寿命化計画を策定しました。 平成 28 年度決算：615,858 千円（※その他関連経費あり）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）

重点施策・事業における目標	河川や水路、池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちとするため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。
平成 28 年度の取り組み	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組めます。 平成 28 年度当初予算：1,348,010 千円
平成 28 年度の実績	平成 28 年度整備予定地区の工事を進めるとともに、平成 29 年度整備予定地区の設計業務を実施しました。また、未承諾地区についても 2 地区の工事を行いました。 平成 28 年度決算：1,155,675 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）

重点施策・事業における目標	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
平成 28 年度の取り組み	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地について、津田汚水幹線より企業共有の集中浄化槽までの約 0.7km について、平成 27 年度から平成 30 年度を整備期間として整備工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き整備を進めます。 平成 28 年度当初予算：130,000 千円
平成 28 年度の実績	枚方工業団地においては、約 0.7km の整備予定延長中、約 0.4km の汚水整備を行いました。 平成 28 年度決算：255,938 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(7) 公共下水道雨水整備事業

重点施策・事業における目標	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組めます。
---------------	---

平成 28 年度の 取り組み	浸水対策として、船橋本町雨水支線や養父丘排水路などの整備に取り組むとともに、新安居川ポンプ場及び溝谷川ポンプ場の排水能力の向上をめざし整備を進めます。
	平成 28 年度当初予算：1,714,195 千円
平成 28 年度の 実績	平成 29 年度完成を目途に船橋本町雨水支線の整備を進めるとともに、養父丘排水路の整備を実施しました。新安居川ポンプ場では樋管・樋門工事、ゲート工事を完成させ、ポンプ場土木工事に着手し、溝谷川ポンプ場でも沈砂池築造工事に着手しました。
	平成 28 年度決算：856,554 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## (8) 下水道浸水被害軽減総合事業

重点施策・事業 における目標	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設等の整備を進め浸水被害の軽減に取り組みます。
平成 28 年度の 取り組み	下水道浸水被害軽減総合計画に基づくハード対策として、蹠跏排水区では、雨水貯留施設の整備を推進し、楠葉排水区では、実施設計に取り組みます。
	平成 28 年度当初予算：596,500 千円
平成 28 年度の 実績	蹠跏排水区においては、雨水貯留管の整備工事に着手するとともに、楠葉排水区においては、実施設計に取り組みました。
	平成 28 年度決算：237,828 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## 2. 行政改革・業務改善

### (1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な 整備・更新	給水人口や有収水量の減少などの長期的な見通しを踏まえ、アセットマネジメントを導入した「上水道施設整備基本計画」を策定し、計画的に施設の整備、更新を進める。 また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から、民間活力の活用も検討しながら、同施設の基本構想・基本設計・実施設計を策定し、工事に着手、平成 37 年度から給水開始をめざす。

実績	<p>「上水道施設整備基本計画」の策定については、プロポーザル方式による委託業務事業者選定審査会の答申を受け、業務委託の契約を締結した。</p> <p>計画策定に向けて基本資料の収集、現計画と現状との相違点・課題の整理、将来人口予測に基づく給水需要予測を行った。</p> <p>中宮浄水場の更新については、更新事業検討委員会を設置し、浄水処理方式の検討を経済性・施工性・水処理や維持管理面など多角的な見地から検討を行った。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
32. 下水道施設の長寿命化	老朽化した下水道施設の機能を適切に管理し、事後保全型から予防保全型へのシフトを図り、計画的に施設の改築・修繕を行うため下水道施設長寿命化計画の策定により、下水道施設の延命化と維持管理費の平準化を図る。
実績	<p>平成 28 年 8 月 29 日に汚水管渠及び遠方監視設備の計画策定業務委託の契約を締結した。12 月に関係機関と協議し、計画書の記載方法や計画策定までの工程等についての確認を行った。</p> <p>また、施設の状態を把握するための点検・調査を実施し、緊急度判定などの診断結果に基づき、平成 29 年 3 月に汚水管渠と遠方監視設備の長寿命化計画を策定した。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、直営との役割分担を踏まえつつ、道路掘削作業など、その一部に民間活力を導入し、事業者の技術の習得状況を確認しながら、技能労務職員の適正な配置を行う。
実績	<p>平成 28 年 7 月から単価契約による「水道管漏水等修繕工事」として、修繕業務の繁忙期や漏水発生の重複時に民間活力を導入し、31 件の修繕工事を発注した。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置しているが、ポンプ場の自動化や遠方監視システムの導入に合わせ配置基準の見直しを進める。
実績	<p>本市が管理する雨水ポンプ場 8 施設のうち、蹉跎ポンプ場にある 3 号・5 号エンジンポンプの自動運転化の工事を完了した。平成 29 年 3 月に遠方監視設備の長寿命化計画を策定した。これらの取り組みとあわせ、配置基準の見直しに向け、引き続き検討を進める。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

## (2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
水道維持管理業務における、漏水修繕手法の検討	水道維持管理業務は、民間事業者も含め、人材確保と技術継承が大きな課題となっている。平成 27 年度に不調となった民間事業者への発注方法の再検討を行うとともに、直営体制の充実も視野に入れた課題解決の手法を検討する。
実績	民間事業者への発注方法を再検討し、単価契約による漏水修繕工事として 31 件を発注した。また、他市の委託状況調査を実施するとともに、市内の複数事業者との委託に向けた意見交換では、24 時間 365 日に対応するには体制的に困難な状況であった。一方、現行サービスを維持するため漏水修繕業務に携わる若手職員の人材育成及び技術継承に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	事業部として、大規模災害等危機事象に備えてのマニュアル整備、情報の共有化等、水道及び下水道に係る新たな危機管理体制の構築を行う。
実績	大規模災害等危機事象に備えるため、「上下水道局危機管理マニュアル」を 7 月に策定し、そのマニュアルに基づいて、様々な訓練を行うことで、情報の共有化を図る等、水道及び下水道に係る新たな危機管理体制を構築した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
業務効率の向上	定例会議により、工程等の共有に加えて、設計業務等の重要課題を課内全員で検討することにより、業務の適正化及び効率化を進めるとともに、職員の技術の向上や継承を図る。
実績	毎月課内会議を行い、業務の課題や進捗状況を共有することにより、業務の適正化及び効率化を進めるとともに、職員の技術の向上や継承を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	



### 3. 予算編成・執行

- ◆水道事業については、建設改良費の増加に対し、自己財源を活用し、企業債発行額を抑制しながら計画的に企業債残高の縮減を図ります。

実績	企業債については、新規発行額を償還額以下に抑制し、引き続き、残高の縮減を図りました。 企業債発行額：10 億 1820 万円 企業債償還額：約 15 億 1893 万円 企業債残高：約 206 億 2689 万円 【対前年度決算比】 企業債残高削減額：約 5 億 73 万円
	取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>

- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経営の効率化、経費削減に努め、一般会計からの基準外繰入金を抑制し予算編成を行いました。

実績	一般会計繰入金を縮減する一方、船橋本町雨水支線や新安居川ポンプ場、汚水管の整備工事等に国費を活用しました。 国費執行額：約 6 億 8983 万円 【対前年度決算比】 一般会計繰入金削減額：約 4 億 1315 万円
	取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>

### 4. 組織運営・人材育成

- ◆上下水道組織の再編により、事業の効率的・効果的な組織運営を図るとともに、危機管理体制の強化に努めます。

実績	水道と下水道の施設情報管理システムの統合・再構築を進めるための庁内プロジェクトチームを設置し、業務の効率化に向けた取り組みを進めました。また、上下水道局危機管理マニュアルに基づいて、8月から応急給水訓練を随時行い、2月には「大雨が降り続いた」という想定で図上訓練を実施し、危機管理体制の強化に努めました。
	取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>

- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

実績	業務に必要となる専門研修の受講や技術・機器等の展示会への参加等を行い、その内容を他の職員へも共有することで、職員の資質や能力の向上に努めました。
	取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>

## 5. 広報・情報発信

- ◆市民の皆様が安心して水道水を利用できるよう、施設の更新・耐震化事業や水質管理についての情報発信を行います。

実績	水質検査計画に基づき実施した定期の水質検査結果を、実施の都度ホームページに掲載するとともに、年報として取りまとめ、ホームページや行政資料コーナー等で公開することにより、年間を通じて全ての検査項目で国の定める水質基準を満たした安全安心な水道水の供給について、情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆市民の皆様が安心できるようホームページやリーフレット等を活用した浸水対策事業等の下水道事業の情報発信を行います。

実績	ホームページを活用して浸水対策事業等の情報発信を行いました。 蹉跎排水区及び楠葉排水区では、市民の皆様へ浸水対策事業への理解を深めていただくため、わかりやすくまとめたリーフレットを配布しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

<上下水道局 新管理棟>

